

大いちょう

令和7年3月18日
岐阜市立加納幼稚園
園長 藤井 佐由美

一年間、温かいご支援・ご協力をありがとうございました！

いよいよ明日、いちょう・さくら組は卒園の日を迎えることとなりました。

嬉しくもあり寂しくもあり…そんな気持ちは子どもたちも同じなのかもしれません。今年度の「年長児を送る会（お別れ会）」は、年中児の子どもたちが考えた企画案で行いました。それぞれファミリー（1年間を通した縦割りのグループ）となり、大きく2組に分かれてそれぞれに行いました。れんげ組が考えたのは、「一緒にサーキット遊びとみんなでかくれんぼ」の2種です。たんぽぽ組が考えたのは、「一緒にダンスと〇×クイズ、はないちもんめ」の3種です。当日に至るまでに、れんげ組では、サーキットをお菓子の国と人魚の国に見立てて飾ったり、隠れ場所を考えて作ったり、危ないところを知らせる標示をしたりと楽しみながら準備を行ってきました。



たんぽぽ組も準備の段階から、自分たちで〇×クイズの問題を考え、「清水川の魚は、冬にたくさんいるかいなか」、「一寸法師は、鬼に食べられたかどうか」、「一寸法師が乗ったのは、お茶碗である」などなど、当日、楽しい問題を出してくれていました。



その後、全園児で遊戯室に集合すると、これまで年長児が演じてくれていたミナモ、ウータン、ひあゆまるたちの本物？が、とうとう加納幼稚園にやってきました。マスコットキャラクターの大ファンだった子どもたちは、胸が躍りました。箱の被り物をかぶっているため表情は見えませんが、ど



れほど感動しているのかが想像できますよね。CCNでも放送されましたが、ミナモの登場シーンは感動ものでした。まるで、世界の大谷翔平選手が加納幼稚園にやってきたかのような黄色い歓声があがり、こんなにも好きになってくれたのだと思いました。一



つつ心の動きとともに、加納幼稚園での楽しかったことを覚えていてくれたら嬉しいなと思います。

れんげ組・たんぽぽ組の子どもたちは、この先、立派ないちょう組・さくら組となって、また加納幼稚園を引っ張っていつてくれることでしょう。来年度が楽しみです。



いちよう組・さくら組さんは、こんなにも小さな子たちに慕われて嬉しかったですね。それは、これまであなたたちが小さい子のことを考えて関わってきてくれたからこそです。今までたくさんの温かい関わりをありがとう。

ひまわり組・ちゅうりっぷ組さん、この幼稚園には素敵な先輩がたくさんいて嬉しいね。来年度は小さな新ひまわり組・ちゅうりっぷ組さんをよろしくお願いね。

お知らせとお願い

◆園務員の先生が、子どもたちのために園庭のままごと等のテーブルを5脚作成してくださいました。とっても素敵な木のぬくもりを感じられるテーブルです。もし、よろしければ、園務員の先生に直接お声かけくださいね。早速活用させていただきます。

◆感謝の気持ち

1年間、温かいご支援・ご協力をいただきましてありがとうございました。言葉では言い表せない思いがあります。こんなとき、言葉は、なかなか気持ちに合うものをさがせないものですね。

伝えるとすれば、「素敵な子どもたちと出会わせてくださり、ありがとうございます。」「幸せな1年間でした。」という感じが近いのかもしれませんが。心より感謝いたします。